

## 第 25 回放送番組審議機関 議事概要

■開催年月日：平成 30 年 4 月 11 日（水）

■開催場所：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 会議室

■Dlife 放送番組審議機関審議委員（平成 30 年 4 月 11 日現在）

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21\_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学芸術学部映画学科教授） \* 審議委員長

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（オリコン株式会社経営企画本部 広報部長）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表）

\* あいうえお順、敬称略

■出席した委員（敬称略）：

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21\_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学芸術学部映画学科教授） \* 審議委員長

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（オリコン株式会社経営企画本部 広報部長）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表）

\* あいうえお順、敬称略

■議題：

- ・ 民放連/番組審議会の運営に関する全社会議の報告
- ・ 放送種別について \*平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月
  - ・ 視聴者からの問い合わせ状況報告（平成 30 年 1 月～3 月分）
  - ・ 3～4 月の編成プランについて
  - ・ 番組審議（作品紹介とディスカッション、プロモーションの紹介）

< 審査番組 >

- ・ 「マーベル インヒューマンズ」 日本語吹替版（第 1 話）
- ・ 「ワールド オブ ダンス」 日本語吹替版（第 1 話）

## ■議事概要

開会の挨拶に続き、以下の議題が進行された。

### ○民放連/番組審議会の運営に関する全社会議の報告

3月2日 金曜日に民放連主催で行われた「番組審議会の運営に関する全社会議」の参加報告と、会議にて総務省より再確認があった事項について共有した。この会議を受け、審議会の議事等の公開方法について、今後は従来の公式ホームページ上での公開に加え、放送でも公開を行うこと、新たに副審議委員長を選出することにより、正副委員長のもと番組審議会をより円滑に運営することが確認され、理解された。

### ○放送番組種別の承認

当社より放送番組種別について平成29年10月～平成30年3月分までの6カ月間の各第3週目の実績、及び前回の報告から大きな変化がないことを説明し、承認された。

※詳細は、ホームページ上に公開。

○平成30年1月～3月までに、カスタマーサービスに寄せられた問い合わせ状況について、視聴者からの問い合わせや要望、また再放送の要望が高かった番組を報告し、確認された。

○3月から4月番組改編の以下のポイントについて、番組宣伝映像を交えながら説明を行った。

1. 3月から4月にかけて、約2か月間にわたる特別編成「マーベル フェス！」を実施。マーベル最新劇場映画「アベンジャーズ／インフィニティ・ウォー」の公開を記念し、3月17日 土曜日から5週間にわたり毎週人気マーベル長編映画を連続して放送した。また、3月3日 土曜日からは、日本初放送となる新作ドラマ「マーベル インヒューマンズ」の放送を開始し、更に4月28日 土曜日からは、人気ドラマシリーズ「マーベル エージェント・オブ・シールド」のシーズン4を放送するという、映画とドラマを立体的に編成した特別企画であることが説明された。

2. 4月より、海外ドラマ新シリーズの2作品として、無料初放送となる「シカゴ・ファイア」とテレビ日本初放送となる「ナイト・マネジャー」の放送を開始することが紹介された。

3. バラエティ番組の編成として、4月より日本初放送となる「ワールド オブ ダンス」の放送を開始し、また人気シリーズの「ナイジェラの食卓へようこそ」と「ボンダイビーチ動物病院」の新シリーズの放送も開始することが紹介された。

4. ディズニーとディズニー/ピクサーの編成トピックスとして、3月には最新映画「リメンバー・ミー」の公開記念として過去映画作品と同時上映してきたピクサー・ショート・フィルム16作品を連続放送し、視聴者からの好評を得たこと、また3月16日 金曜日に舞浜で行われた究極のディズニーイベント「D23 Expo Japan 2018」の様相を紹介する特別番組を放送したことが報告された。

更に、4月には、「ピーター・パン」「ピノキオ」等のディズニーの長編アニメーションを4週連続で放送するという特別編成を組んでいることが紹介された。

○委員からは、事前視聴、及び当日上映された番組に対し、それぞれ以下のような意見や感想が寄せられた。

— 「マーベル インヒューマンズ」第1話について、「インヒューマンズ」という設定が解り難いため、事前に説明があるとより楽しめたのではないかと感想が寄せられた一方で、マーベルファンが夢中になるような要素があり、若い層、特に若い女性層に好まれるポテンシャルがあるのではないかと感想も寄せられた。

— 「ワールド オブ ダンス」について、大変レベルの高いダンサー達の熱戦とバランスのとれた審査員の評価に感動を覚え、単なるオーディション番組ではなく、人間ドラマとして見所のある、共感型の優れた番組である。日本には、ダンサーが職業として活躍できる機会は多くないが、この番組が、高いレベルを目指して世界に飛び出すような刺激を若者に与えるような存在になって欲しい、という賛辞が審議委員全員から寄せられた。また、その場で視聴された、日本人ダンサーKENZOによる解説ミニ番組についても、解りやすく親しみが持てて良い、という感想が多々寄せられた。

以上